

◎DREAM、交流を促進するオフィスへ
―GRESBやグリーン金融で環境配慮も

ダイヤモンド・リアルティ・マネジメント（DREAM）は、本社オフィスの全面リニューアルを実施した。社員にとって心地よい空間でのコミュニケーションの活性化を促し、イノベーションの醸成へつなげていく。また、運用を受託する私募リートは、10月にGRESBリアルエステイト評価で初の最高位「5スター」を獲得。11月に2件のグリーンローンの調達を行うなど、社会のウェルビーイング最大化を目指し、地球環境の保全や不動産運用市場の持続的な発展を見据えた事業を推進する方針。

10月末に工事が完了したオフィスのリニューアルでは、垣根のない一体感がある空間創りを行い、今後の成長で段階的に座席数を増やせる仕組みとした。また、オフィスの中央に人が集まる動線を確保したコミュニケーションエリアを設けた。ウェブ会議に適した個室ブースやリラックスできるソファ席なども備えて、サステナビリティ経営を実践する場としていく。

DREAMが運用を受託する「DREAMプライベートリート投資法人」は、GRESBの評価で上位20%が対象となる5スターを獲得。ESG推進に向けた体制の整備や保有物件の環境認証取得などの取り組みが高い評価を受けた。グリーンローンの調達はこれまでに10件実施し、借入残高は合計85億円。直近では、CASBEのSランクを21年に取得した物流施設「川崎水江物流センター」などのリファインランス用途の借り入れを11月に行った。上半期には物流施設「新山下物流センター」を始め、3つの施設でBELSの5つ星とZEB Ready評価を取得するなど、環境認証の取得にも注力する。